

# 天体観測ドーム 今月のOPEN

18:30~21:30まで（晴天時のみ）

4日(日)・10日(土)～12日(月)・17日(土)・

18日(日)・24日(土)・25日(日)・31日(土)



2026年1月号 

## 今月の惑星情報

3日 満月	10日 木星が衝
4日 地球が近日点通過/しぶんぎ座流星群が極大	11日 下弦
7日 レグルス食/金星が外合	19日 新月
9日 火星が合	22日 水星が外合
	26日 上弦

## ★用語解説★

合…地球から見て2つ以上の天体がほぼ同じ位置にある状態

外合…地球-太陽-内惑星と並んだ時

レグルス食…しし座の1等星レグルスが月や惑星に隠される「星食」という天文現象。

衝…外惑星が太陽とちょうど反対側にくる瞬間

## 1月の星空

宵の空は、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオン、ふたご座のポルックス、ぎょしゃ座のカペラ、おうし座のアルデバラン、オリオン座のリゲルと結ぶ「冬のダイヤモンド」にオリオン座のベテルギウスと木星が加わって、明るい星でにぎやかです。三大流星群の一つであるしぶんぎ座流星群の極大は1月4日早朝で、4日未明が観察のチャンスとなります。月が明るいため、条件は良くありません。夕方の西の空には、土星が見えています。

23日には、細い月が土星に接近して見えます。



### 水星

月初は日の出前の南東に位置。22日に外合となり、以後は日の入り直後の西の低空に位置するようになる。見かけの位置が太陽に近く観察は難しい。

### 金星

7日に外合となり、以後は日の入り直後の西の低空に位置。見かけの位置が太陽に近く観察は難しい。

### 火星

いて座からやぎ座にかけての領域を東に移動し、9日に合となる。見かけの位置が太陽に近く、観察は難しい。

### 木星

ふたご座の領域を西に移動し、10日に衝となる。日の入り頃に東の空から昇り、真夜中頃に南中する。明るさは-2.7~-2.6等。

### 土星

みずがめ座からうお座にかけての領域を東に移動。宵の南西から西の空に位置し、明るさは1.0等。